

第14期「環境マネジメント交流会議」のご案内

—環境保全を通じた「持続可能な社会の実現」と「経営への貢献策の探求」—

■開催にあたって：現在、2050年カーボンニュートラル、脱炭素社会の実現に向けた動きが加速しています。これまでも地球規模での気候変動、温暖化などへの対応に関心が向けられ、世界中の企業でサステナビリティ：持続的成長に向け「地球環境を考慮した経営」が重視されてきましたが、日々進行する環境問題の解決に向け、今後はより積極的な取り組みが求められます。本交流会議は、直面する環境マネジメントの問題・課題を異業種企業の環境部門の皆様が、各業種・各社・各位の視点からの知見交流・ケース交換の討議を通じて課題発見・課題解決への気付きと活力を共有していただくことを目的に開設され14期を迎えます。本交流会議の活動趣旨：「環境保全を通じた社会の持続的成長と経営への貢献策の共同考察」にご賛同いただける熱意ある環境マネジメント部門各位のご参加をお待ちしております。

■期間：2023年7月～2024年3月（全9回会合／13:00～17:00）

■開催：原則「会場＋オンライン（Zoom）」の併用開催 *講師・その他の都合により日程、開催方式が変更になる場合があります。

開催日	例会内容（講演テーマ） ※2023年6月現在	
第1回 2023年 7/28(金)	＜講演とオリエンテーション、グループ討議（仮分科会）＞ 『パナソニックグループの環境への取り組みについて』 パナソニックオペレーショナルエクセレンス(株) 品質・環境本部 環境経営推進部 課長 山内 政典 氏	
第2回 8/18(金)	＜講演とグループ討議（分科会）＞ 『持続可能なサーキュラー・エコノミーへの転換の必要性(プラスチックを中心に)』 公益財団法人 世界自然保護基金ジャパン(WWF ジャパン) サーキュラー・エコノミーマネージャー 兼 プラスチック政策マネージャー 三沢 行弘 氏	
第3回 9/15(金)	＜講演とグループ討議（分科会）＞ 『キリングループの統合的アプローチと自然資本への対応』 キリンホールディングス(株) CSV 戦略部 シニアアドバイザー 藤原 啓一郎 氏	
第4回 10/13(金)	＜講演とグループ討議（分科会）＞ 『コニカミノルタにおける環境経営への取り組み』 コニカミノルタ(株) 経営企画本部／経営企画部 環境グループ 環境デジタルプラットフォーム推進グループ 課長 富田 康二 氏	
第5回 11/17(金)	■例会の構成 毎月の例会は、原則、前半が全体会（講演）、後半がテーマ別分科会（グループ討議）の構成となります。 前半の全体会では、参加メンバーへの新しい気づきの提供と視野の拡大を目的に、環境マネジメント関連のタイムリーな話題や、最新企業ケースを紹介いただける講師をお招きします。	
第6回 12/15(金)	■第5回～第9回の講演テーマ、及び、14期「分科会」テーマは、以下例示をもとに設定します。	
第7回 1/19(金)	○OSBT 取得 ○TCFD 開示対応(改訂_移行計画、指標目標、シナリオ分析及び財務影響、IFRS 対応課題) ○カーボンニュートラル対応(削減策_ICP、クレジット、ロードマップ、目標(2030年、2050年)) ○スコープ3算出 ○PCF・削減貢献量 ○サーキュラーエコノミー推進体制(意識改革と人材育成、事業との関連性、ビジネスモデル創出)	
第8回 2/16(金)	○プラスチック資源循環 ○資源循環関連法規制動向と影響 ○製品による環境訴求(環境配慮製品の定義、認定制度、エコデザイン推進、環境性能の評価・定量化方法)	
第9回 3/15(金)	○TNFD、SBTN 対応(自社事業のリスク、機会抽出 ロケーションリスク_水、生物多様性評価) ○TNFD、SBTN 対応(ガイダンスに沿った進め方の理解及び検討) ○自社の自然資本、生物多様性 ○環境フットプリント、LCA ○非財務情報開示対応の進め方(進め方、役割、体制、スケジュール)	

■参加費：正会員：220,000円（本体価格200,000円+税） / 一般：242,000円（本体価格220,000円+税）

*1社の参加費で2名様まで参加可能です。また、第1回例会（7月28日）への体験参加も承ります。

■お申込方法：下記ホームページ内の「第14期参加申込フォーム」からお申込み下さい

[環境マネジメント交流会議 | 一般社団法人企業研究会 \(bri.or.jp\)](https://www.bri.or.jp)

■事務局：(一社)企業研究会 上島 正弘 (Email: kamijima@bri.or.jp / TEL: 090-6797-1801 (コードNo.230121))